

# ひるがみ

第 7 2 号

平成 2 9 年 1 1 月 1 5 日

発 行

障害者支援施設  
阿智温泉療護園

社会福祉法人 下伊那社会福祉会

〒395-0304

長野県下伊那郡阿智村智里昼神

TEL 0265-43-3172 FAX 0265-43-3173

ホームページ

<http://achion.com/ryougo/>



## 秋の家族交流会

十月十四日、理事長、利用者との二十一家族三十四名をお迎えし、職員利用者合わせて百二十名が一堂に会して、恒例の秋の交流会を開催しました。

今回の交流会は、「職員がご家族様とより親しく話しやすい関係をつくる。」をテーマにしました。



難問クイズに皆さん大いに盛り上がりました。

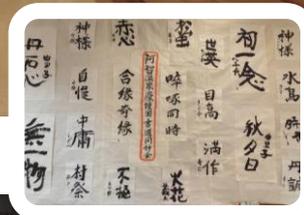


アトラクションは、

利用者さんとそのご家族それぞれをサポートする職員を六グループに分け、それぞれクイズに答えていただくことで、利用者さんご家族の皆さんを交え職員との会話が弾むように工夫しました。今年の



今回もたくさんの作品を展示することができました。



交流会の目玉の一つである職員紹介の掲示

は、好評で人だかりができるほどでした。それぞれの職員の素顔がわかり親しみが増しました。

また、今年も利用者職員の展示作品が多く集まり、ご家族の皆さんが、興味深く見入っていました。



胡桃味の御幣餅は大変好評でした。



昼食会は職員が御幣餅を炭火で焼き、豚汁と二十五種類のデザート、スイーツでたいへん満足していただき、楽しい交流会ができました。

(Y・K)

# パン&カップラーメン バイキング

八月三十日

カップラーメンは以前より利用者の皆さんからの要望がある中初めて実現されたので、利用者さんにとって喜びもひとしおの企画でした。

今回の企画が実現されるというだけで、利用者さんは数日前から



様々な種類のカップラーメンが用意されました。

期待にされていました。当日は小さいタイプのカップでしたが複数個希望される方もおり、人気の高さを垣間見ることができました。パンも好きなだけ食べられるとあって、同じ種類をいくつも希望される方もおられました。

ており、利用者の皆さんは満足できる企画であったと思います。(S・H)

## 夏祭り

八月九日に夏祭りを行いました。夏祭りでは、夏らしく訓練室をお化け屋敷にしました。入る前に食堂で、怪談話のビデオを皆で見た後、順番に職員と共に利用者さん一人ずつ入場し、お化け役の職員が驚かすというものでした。

る人もいました。お化けが誰か分かると「なんだ」と笑顔を見ることが出来ました。

お化け屋敷を利用者が全員が体験した後は、食堂で好みの味のかき氷を食べさせて頂きました。お化けが苦手な方も、そうでない方もかき氷を食べながら「楽しかった」「あのお化けをしていたのは誰かなあ」と楽しんでもらえたようで、良い企画でした。(M・H)

## 昼神花火大会

八月十二日二十一時頃より中庭で昼神花火大会を見物しました。花火が始まるまで食堂



花火を見上げ大きな音にビックリ

で写真を撮ったりTVを見て過ごしたり、皆さん花火が上がる事を楽しみにしている様子

でした。花火が上がると利用者Y・Iさんは「普段なかなか見る事ができないので楽しかった」と笑顔。C・Kさんは「花火が大きく綺麗に見える事ができて嬉しい」。K・Sさんは「私のカメラで写真を撮って欲しい」と、皆さん間近で見ると響き渡った夏の夜でした。(Y・K)

最初は「お化けは怖いよ」と言っていた利用者さんも、「お化けは職員だから怖くないよ」と言っていた利用者さんも、いざ薄暗いお化け屋敷に入ると、突然現れるお化け役の職員に驚いて「うわあ！」と声を上げてい



明るい所で見ると怖くありません

# 国際福祉機器展

九月二十八日、東京ビックサイトで開催された国際福祉機器展に園長他三名の職員で今年も行かせて頂きました。

当園では浴室改修を控えているため、重度化・高齢化する利用者さん達が、安心して気持ち良く入浴でき、職員の省力化にも資する特殊浴槽の選定をメインに見てきました。食事関連では、現在のミキサー食よりも食べやすいソフト食のプ



利用者さんが安心して入浴できる浴槽を見つけてきました。

## 主な視察・研修

ースで試食し、試供品を貰ってきました。収穫は、消臭除菌水の価格比較ができたこと、四人掛け食堂テーブルでそれぞれ個別に高さ調節ができるものがあり、年度末に予算に余裕があるならば、一台ほしいと思えました。今回の展示会で吸収した情報を日々の支援に活かしていきたいと思

(H・K)

# 身障協全国大会

七月六〜七日、高知市で行われた身障協全国大会に職員四名で参加させて頂きました。一日目の講演では、当

ました。少子高齢化率が進む高知県では、介助する人が腰を痛めないうように、長く介助をしていけるように、県を挙げてノーリフトケアの取り組みに力を入れていくとのことでした。記念講演では県内の多くの喫茶店で「龍馬(ローマ)の休日」

# 関ブロ身障協職員研修大会

九月二十一〜二十二日に千葉市東京ベイ幕張ホールで行われた関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会に園長他職員四名で行かせて頂きました。一日目は三施設の実践報告を聞き、二日目は北野大先生の講演を聞きました。実践報告では、同じ長野県内の施設の発表で、「自分らしい

生活を取り戻すために」という発表がとても印象に残っています。五十代のAさんは脳血管障害でほぼ寝たきり、経管栄養、気管切開、ADLは全介助、言語機能全廃でしたが、食事も食べられるようになるまで回復したそうです。二日目の北野先生の講演は、「北野家の訓え」というこ

というキャッチフレーズを掲げて集客しているというユーモアを交えた坂本龍馬の話を押聴しました。今回の実践発表を通して、園でもノーリフトケアの取り組みを一層推進していきたいと思

(Y・K)

とで、弟のビートたけしさんとのエピソードも交えつつ、とても楽しいお話を聞きしました。充実した二日間でした。

(Y・K)



次期開催地実行委員長として、福澤園長が挨拶をしました。

# 運動会

にも一緒に参加していただきました。

十月十八日、運動会を行ないました。運動会と言うと玉入れやリレーなど、様々な競技で勝ち負けを競う内容ですが、今回の運動会は、利用者さん全員が参加でき、利用者さんの力を発揮できるゲームを行なえるように考えました。そして、職場体験に来ていた旭ヶ丘中学校の生徒四名様

ジャケンゲームは、代表者にジャケンをしてもいい、最後まで勝ち残った方が一番になります。ジャケンの札を作った事で、全員が参加できました。宝探しゲームは、紙に書か



ジャケン ゲーム



パーを出した人は誰かな？

れた宝物を確認し、その宝物を探します。利用者さんと職員とでペアになって行なう事で、ヒントを出し、利用者さんに探してもらいました。



「青い山脈」「紅葉」「四季の歌」「りんごの歌」  
懐かしすぎてメロディーが思い出せません

最後にカボチャプリンを食べました。このカボチャプリンには釣り形式になっていて、利用者さん自身で釣り上げないと食べられません。季節のお菓子を食べられるように、自身の力を最大限に発揮し、釣り上げ、とても美味しそうに召し上がっていました。全員が参加できる運動会を通して、今までと違った利用者さんの姿を見る事ができました。

(M・M)



おいしいプリンが釣れました。

## 現況報告

平成二十九年

十一月十五日現在

利用者 四十九名

職員 四十七名

(非常勤職員を含む)

## 編集後記

ここ最近一気に気温が下がって寒くなりました。利用者さんからも「寒くなったなあ。」と言う声も聞かれます。一年の終わりに近づいて来ました。今後も利用者さんご家族の皆様が健康に過ごせますように。

